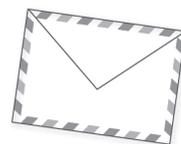




同窓会だより



第29期第1組 人事評価制度の運用

幕張で人事評価制度について共に学んだ仲間が集まりました。

ときは平成27年11月7日(土)午後6時

「チョイと一杯飲むなら“サラリーマンの聖地”へ。」ということで、会場は新橋の居酒屋となりました。待ち合わせ場所は、勿論、新橋駅前のSL広場です。

当日は、講師としてお世話になった株式会社日本能率協会コンサルティングの宮澤先生も駆けつけてくださいました。海外出張先での仕事を切り上げ、羽田空港から荷物を抱えたまま新橋ガード下へと、文字どおり万障お繰り合わせいただきました。

人事評価制度を実効性のあるものとして運用するためには、各自治体の実情を踏まえた制度設計を行い、職員の理解と納得を得る必要がありますが、そこには多くの課題があり、他の業務の傍ら、それらを乗り越えなければなりません。正式導入まで半年を切り、待った無しの対応を迫られており、それぞれの自治体で奮闘が続いているところです。「そんな時にチョイと一杯なんてやってる場合か!」と叱られそうなので、参加者の中には、円滑な導入に向け、他団体の情報を求める真面目な方もいたということをお伝えしておきます。また、宮澤先生からは、ざっくばらんな会話の中で、個別具体的な事例やヒントをいただくなど、この交流がお悩み解決の突破口になるのではと期待させて



くれるものでした。

新橋の居酒屋を出た一行が次に向かったのは、“サラリーマン憧れの地”夜の銀座でした。この界限に詳しいメンバーの計らいでありましたが、投稿写真は1枚とのことで、その様子をお伝えできないのが誠に残念です。

そんなこんなで、「チョイと一杯」といいましたが、やはり最後は終電と競争する事態となりました。とても素敵な再会ではありましたが、サラリーマンの聖地で飲むなら、ドレスコードとして“ハチマキ・ネクタイ”をしなかったことが大きな忘れ物でした。

静岡県島田市 小松原 智成

第19期第2組 地方自治制度(研修講師養成)

「地方自治制度(研修講師養成)」第19期第2組の同窓会を平成27年11月14日～15日に愛媛県西条市、今治市で開催しました。今回で10回目という記念すべき年の参加者は、同窓生とご家族を含めた7名に、お忙しいところご出席いただいた担当の野口教授の8名でした。

初日はJR伊予西条駅に集合し、久しぶりの再会を果たした後、隣接した西条市観光交流センターに移動。ここは、その名の通り西条市の観光スポットを紹介する施設です。

西条市には様々な観光資源がありますが、名水百選の湧水「うちぬき」、日本百名山の「石鎚山」、豪華絢爛「西条まつり」は外せません。観光交流センターでは「うちぬ



き」で喉を潤した後、西条まつりの映像鑑賞をしましたが、当日は雨天だったため、あいにく石鎚山の頂(西日本最高峰1982m)は見ることができませんでした。

次は、車で市内にある四国唯一の大規模ビール工場へ。「人と環境にやさしい21世紀型」工場のビール製造工程を見学し、ドライバーには気の毒ですが、出来立てビールの試飲を堪能しました。その後、四国鉄道文化館へ移動。ここは、実物の0系新幹線やDF501ディーゼル機関車等の実車6両が展示してあり、間近で見る歴史的車両の迫力に圧倒されました。

夜は、瀬戸内の海の幸に舌鼓を打ちながら、時間を忘れてそれぞれの近況を報告し合いました。

翌日は、愛媛県と広島県を繋ぐ「しまなみ海道」サイクリングです。朝8時半にレンタサイクルにて出発。まず、海拔約78mの来島海峡大橋を走行です。天気は快晴、心地良い風が吹いています。橋上からは、はるか遠くまで見渡せ、瀬戸内海に浮かぶ島々の美しい風景に魅了されました。絶景の中、約2時間かけて、海の上を飛んでいるかのような爽快なサイクリングを終えました。

昼食に、今治市のB級グルメ「焼き豚玉子飯」を食し、今治駅で来年の再会を約束し散会しました。

今回「青い国、四国 湧水としまなみ海道をめぐる旅」と銘打っての同窓会でした。事前の天気予報では、両日も雨天の予報でしたが、二日目は良い天気にも恵まれ、思い出深い同窓会となりました。

これからも回を重ね、皆さんと交流を深めていければと思っています。

愛媛県西条市 渡部 泰成